

# きぬがさ

東近江市立能登川西小学校  
学校だより No.19  
平成31年(2019年)2月22日

早春の候、保護者の皆様にはご清祥のことと存じます。

平素は、本校教育の推進にご理解と、ご支援をいただきありがとうございます。

本年度は、教育目標「郷土を愛し 心豊かで たくましく生きる子」の育成を目指し、

・粘り強く学習する子・友だちを大切にする子・ふるさとに学ぶ子

をめざす子どもの姿とし、アクションプランに示したことを重点に取組を進めてまいりました。

2学期末に皆様や児童から回答いただいたアンケート結果を踏まえながら、ここまでの取組を評価  
討してきました。学年末も近づき、保護者の皆様の深いご理解とご支援に感謝しつつその結果をお知らせします。



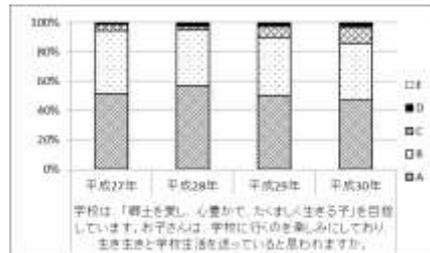
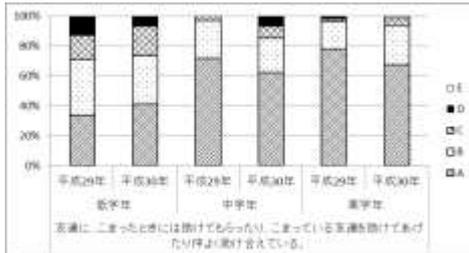
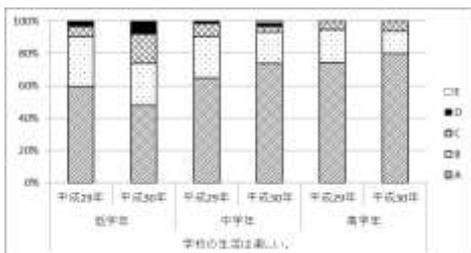
## 1 笑顔と活力ある学校をめざして

「学校が楽しい」「仲良く助け合っている」の項目では、「A:そう思う」と「B:どちらかといえばそう思う」という児童の肯定的な回答は、低学年で低めですが学年を追うほど高くなっています。このことから教育活動の内容が多様化し充実してくるほど肯定的に考える児童が増すと考えられます。保護者の皆さんからも85.8%の高い評価をいただきましたが、経年変化を見ると少しずつ下がってきています。この結果を真摯に受け止め、どの子どもも学校が楽しく思えるような取組を進めていきます。そして「C:どちらかといえばそう思わない」「D:そう思わない」と答えた9%と3%の子どもたちと保護者様にしっかりと目を向け、笑顔と活力ある学校に来て、友達と助け合う活動が出来るように心を配っていききたいと思います。

【児童】

【児童】

【保護者】



【音楽集会】



【陸上記録会 2人3脚】



【運動会たてわり応援】



【たてわり歓迎会】



【中休みのたてわり遊び】

## 2 子どもが主人公となる学校をめざして

子どもたちの意欲を育てることが、学びを粘り強く継続させることにつながると考えて「やる気」のもてる授業に取り組みました。授業では、「自分の考えをもち、生き生きとした表現ができる子どもの育成」を研究テーマとして授業改善や支援のあり方を探り以下のことに力を入れてきました。

○「自分の意見や考えをもち」「自分の考えを表現する」活動を大事にした授業づくり

○学習規律（姿勢・約束・話し方・聞き方）の指導をして、授業が活性化する学級づくり

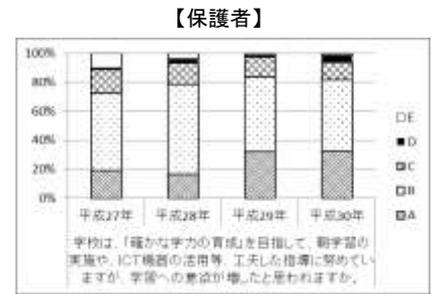
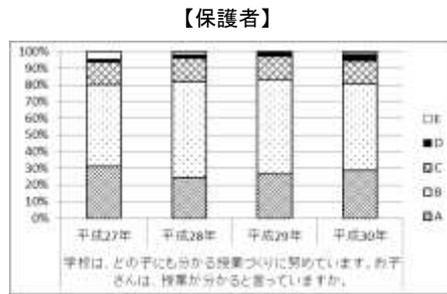
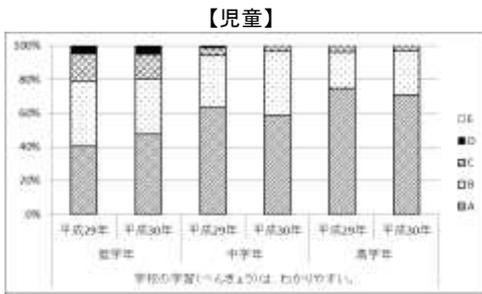
○地域の人・自然・文化に学ぶ体験活動や学習で「学ぶ楽しさ」のもてる授業の推進

○基礎学力を養う「朝のスキルタイム」の取組や詩や百人一首の暗唱、算数チャレンジ、ノート展などで学力を支える日常の取り組み

○昼の「10分間読書タイム」や図書館司書と連携した委員会活動による読書環境の充実

○「家庭学習の手引き」「メディアコントロール」「情報モラル教育」による学習習慣・生活規律の確立

「学校の勉強はわかりやすい」の項目では、「A:そう思う」と「B:どちらかといえばそう思う」という児童の肯定的な回答は91%でした。保護者回答は80%でした。「わかった」「できた」の喜びのある学習をめざし、この評価ポイントを少しでも上げられるように、保護者さんと手をつないでこれからも取組を進めていきます。そして「C:どちらかといえばそう思わない」「D:そう思わない」と答えた9%の子どもたちに寄り添い、支援のあり方をしっかりと探っていききたいと思います。



【まず自分で考える】 【考えをペアで確かめる】 【できた・分かった・ひらめいた】 【自由に交流する】 【グループで考えを交流する】

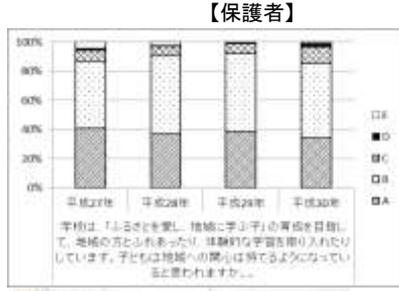
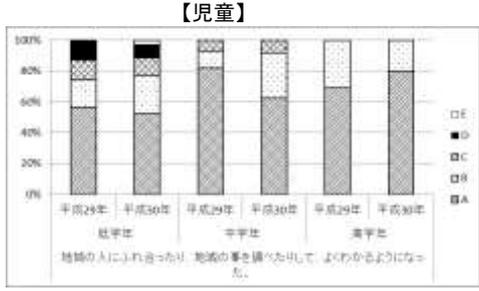


【自分の考えを言葉で表現する】 【友だちの補足をする「ならさあ…」】 【批判的に見る「でもさあ…」】 【考えが発展する「ここでは…」】

保護者意見の中で「…授業の進む程度が早いような気がして、少しわからないことがあってもそのままになっているみたいなので少しでもゆっくりわかるように 2 グループに分かれて…」といただきました。少人数指導員を要望しているところですがなかなか難しいところです。複数指導体制やわかりやすい授業・支援を考えてまいりますのでご理解いただけるとありがたいです。

### 3 この学校で学べてよかったと思える学校をめざして

今年度から、地域学校共同本部事業に名称が変わり、地域コーディネーターが地域教育協議会と連携して「ふるさとを愛し、地域に学ぶ子」の育成を目指して取り組みました。その結果、「地域の方々とふれ合ったり体験的な学習を取り入れたりした効果として、子どもは地域への関心を持てるようになってきていると思われませんか。」の保護者項目では 85%の肯定的な評価をいただき、児童向けの項目「地域の人にふれあったりしてよく分かるようになった。」では、90%の児童が地域のことがよくわかったと回答しました。特に学年が上がるにつれて地域学習に積極的に取り組んでいることがわかりました。学びを粘り強く継続させることにつなげるため、これからも「ふるさとを愛し、地域に学ぶ子」の育成を目指して取組を進めていきたいと思います。

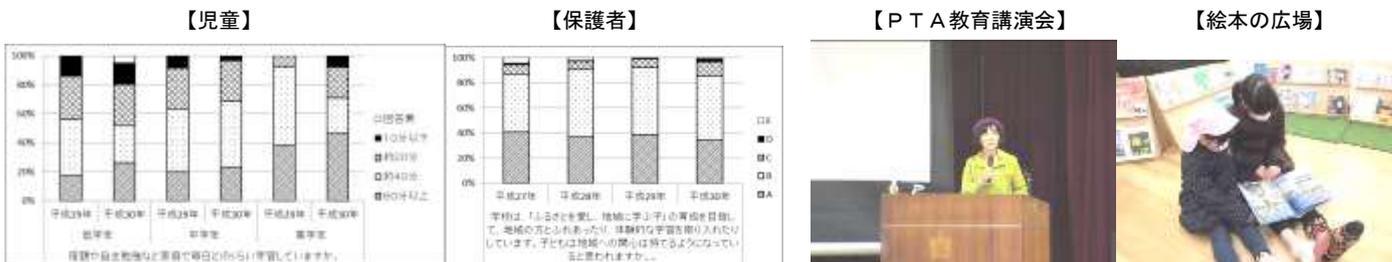


【一緒に遊びを学ぶ：1年】 【地域の名人に学ぶ：3年】 【環境や自然に学ぶ：5年】 【ゲストティーチャーに学ぶ：6年】 【ALTと学ぶ：外国語】

読書習慣の取組では、学校や家庭での読書活動を習慣化させるために、図書館司書と図書委員会が協力してクイズラリーやおすすすめの本の紹介をしました。PTAの皆さまの協力のもとメディアコントロールデーを毎月の15日に設定し、ゲームやインターネ

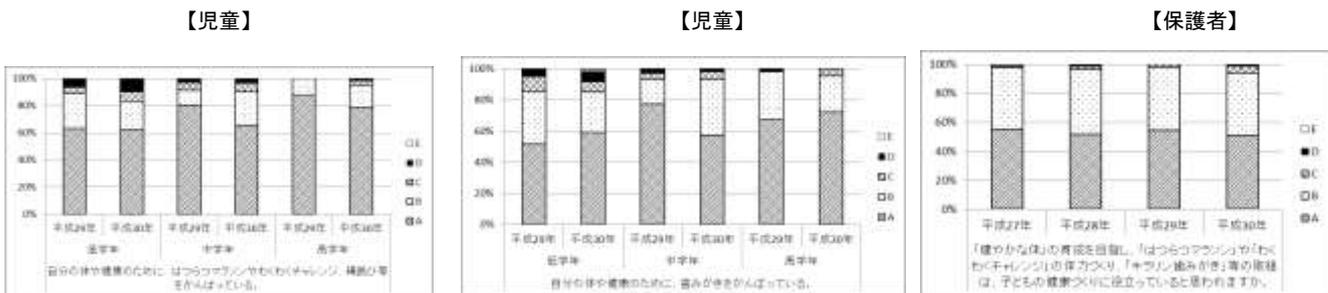
ットの時間にかわる時間の過ごし方として、読書をすすめてまいりました。その成果もあり、読書の時間の必要性についての意識づけはできてきました。毎年、寄贈本にも恵まれて興味のある本が多数購入されています。

家庭学習についてのご意見では「自主学習を親が強制的にやらせていますがどうすれば良いのか悩んでいます。学校からも勉強の意味を教えてほしいです。」のとお悩みをいただきました。強制的でも家庭学習を習慣化させることは今後の力になります。学校では、家庭学習の内容や量を教科の内容とあわせて吟味し、子どもたちにも学習を習慣化させるために宿題が大事であることを指導してきましたが、さらに自主学習の必要性も説いていきたいと思えます。家庭学習の時間が中学年で10分以下であったり高学年でも20分以下であったりする児童には、自分の主体が起きる学習のあり方を、児童と保護者さんと一緒に話し合いながら考えていくことを考えています。「この学校で学べてよかったと思える学校」のために、基礎基本となる学力をしっかりと定着させる粘り強い取組をこれからも継続していきたいと考えています。



#### 4 体力づくり

「健やかな体の育成を目指し、「はつらつマラソン」や「わくわくチャレンジ」の体力づくり、「キラリン歯みがき」等の取り組みは、子どもの健康づくりに役立っていると思われませんか。」という項目では、94%の保護者さんから支持をいただきました。児童も90パーセントの児童が、体力づくりや歯磨きに積極的に取り組んでいます。長年の取組の成果が続いていることを改めて感じました。学童期における適切な運動は、集中力を高め脳と心の発育に大事なことが脳科学的に解明されつつあります。今後は中休みの学習補充の時間確保との兼ね合いを考えながら、より主体的で有効な体力作りの取組を考えていきます。お子様の健やかな成長のためにご家庭と手をつなぎながら取り組んでまいりますのでご理解をよろしくお願いいたします。



【わくわくチャレンジ】 【チャレンジなわとび】 【親子歯と口の健康診断】 【食育掲示板】 【栄養士による学習】

#### 5 いじめのない学校

「今年4月から今までにいじめられたりいじめたりすることなく過ごせた。」の項目については、「A:そう思う」と「B:どちらかといえばそう思う」という児童の肯定的な回答は64%でした。保護者回答は73%でした。昨年と比べると低い数値ですが、これはいじめの定義を広く捉えて指導したからです。相手がいやな思いをしたら1回きりでもいじめですし、お互い様のけんかもいじめです。いじめはどの子にも起こりうるという考えで学校は対応しています。そういった指導の結果、加害者側も被害者側も意識が高まってきたと思っています。ご意見で、「あのね週間はきちんとやってほしい。…学校全体心の余裕があると良いと思えます。」といただきました。子どもたちが気持ちを聞いてもらえるほっとする時間として、これからも、「あのね週間」や専門相談員による「おあしす相談」を設けて、ひとり一人の思いをしっかりと受け止めて理解するよう努めていきます。

ご意見の中に「高学年になると、ふつうに死ねと言う言葉を口にしている子もいるようで、先生方はそのようなことがあることを知られているのかと親としては心を痛めています。」という一言をいただきました。私たちも耳にしたときにはきつく指導をしていますが、道徳や学級活動を中心に全教育活動を貫く人権教育を進め、言葉の暴力やいじめ問題につきまちは、これからもご家庭の協力を仰ぎながら指導を重ねていきたいと思えます。



多くの皆様にご意見やご提言、励ましの言葉をいただきました。いくつかは、アンケート結果の中で触れさせていただきましたが、すべてを載せることができませんでしたことをお許してください。反省すべき点や改善すべき点をしっかりと見据え、保護者の皆様や地域の皆様の協力を得ながら「郷土を愛し 心豊かで たくましく生きる子」の育成をめざして教職員一同ががんばっていきたいと思います。お問い合わせなどございましたら学校まで連絡いただけるとありがたいです。

アンケートの回収率も高く、学校に寄せていただき期待の大きさを改めて感じました。ご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。